

愛知県立岡崎聾学校のホームページを御覧いただき、ありがとうございます。

本校は明治36年（1903年）に開校し、今年度、創立122周年を迎える全国で8番目に古い歴史と伝統のある聾学校です。

今年度は、全校幼児児童生徒107名、31学級でスタートしました。

学区は西三河全域で、9市1町（岡崎市、豊田市、西尾市、安城市、刈谷市、知立市、高浜市、碧南市、みよし市、幸田町）の聴覚障害教育の拠点校となっております。

校訓「ゆたかなことば あかるい心 たくましいからだ」のもと、変化の激しい社会をたくましく生きる力を育むために、基礎的な学力や豊かなコミュニケーション力を身に付け、体験的な活動を通して困難に立ち向かう強さをもつように取り組んでいます。

本校は交流及び共同学習も盛んで、幼稚部はレオナ第二幼稚園と小学部は岡崎市立岩津小学校や恵田小学校と中学部は岩津中学校と高等部は岡崎商業高等学校と様々な交流を行っています。中でも恵田小学校との「落ち葉スキー交流」は毎年テレビや新聞等でも紹介される特色ある交流になっています。

また、国立大学法人筑波技術大学〔茨城県つくば市にある聴覚・視覚に障害のある人を対象にした日本唯一の国立大学〕と連携協定を結び、高大連携授業を実施しており、本校にいながら大学の先生から授業を受けることができます。令和3年度からペンタゴン・プロジェクトが小学部で始動しました。これは、全国の聾学校4校（北海道の旭川聾学校、島根県の松江ろう学校、九州の熊本聾学校と本校）と筑波技術大学をオンラインで結んで、授業交流を行うものです。小学部段階から全国に友達の輪が広がるとともに、学びに深みが増し、児童にとっては楽しみの一つになっています。

部活動では、一流アスリートに指導をしていただいています。陸上競技部はトヨタ紡織の選手に、バレーボール部はVリーグのジェイテクトの選手に指導をしていただいています。本物の選手の走りやプレーを間近で見てアドバイスをいただけることは、生徒にとって大きな刺激となっています。昨年度は全国聾学校陸上競技大会の男子800m、1500m、女子走り高跳びで全国優勝を成し遂げました。また、東海地区聾学校卓球大会で男女団体戦、個人戦で上位入賞を果たしました。東海地区聾学校バレーボール大会においても、男女アベック優勝に輝きました。今年は11月に東京2025デフリンピックが開催予定で、本校の卒業生や保護者も参加予定です。御健闘をお祈りしております。

最後になりますが、令和元年10月の学校ブログを開設以来、多くの方々に閲覧していただき、本校に関心を寄せていただいていることに感謝しています。今年度も、学校ブログやホームページを利用して、岡崎聾学校の魅力を発信していきます。幼児児童生徒がわくわくして通いたくなる学校、夢や目標にチャレンジできる学校、多くの方々に応援していただける学校になるよう、教職員一同努めてまいります。

今後とも保護者、地域及び関係機関等の皆様の御理解と御支援をよろしく願います。

学校ブログと併せて御覧いただき、御意見や御感想をお寄せいただければ幸いです。

愛知県立岡崎聾学校長 能田康雄